

◆実践問題5◆

2は、
3もしくは4と
同一人物

- 1回目
- 2回目
- 3回目
- 4回目
- 5回目

昔、おろかなる俗ありて、人の婿になりて行き

ぬ。さまさまもてなしけれども、なまこざしく

よしばみて、いと物も食はで、飢ゑて覚えけるま

まに、妻があからさまに立ち出でたるひまに、米

を一頬うちくくみ食はんとするところに、妻帰り

たりければ、恥づかしさに顔をうち赤らめて居た

り。頬のはれて見えければ、「いかに」と問へども

声もせず、いよいよ顔赤みければ、はれものの大

事にて物も言はぬにやとて、驚きて、父母に「か

く」と言へば、父母来たりて見て、「いかにいかに」

と言ふ。いよいよ色も赤くなるを見、隣の者集ま

りて、「婿殿のはれもの、大事におはすなる、あさ

まし」ととどぶらふ。さるほどに、医師を呼ぶべき

にて、藪医師の、近々にありけるを呼びて見すれ

ば、「ゆゆしき御大事のものなり。とくとく療治し

参らせん」とて、火針を赤く焼きて

頬を通したれば、米のほろほろとこぼれてけり。